

片岡豊先生 略歴・主要研究業績

I. 経歴・社会活動

1949年10月12日生まれ

学歴

- 1974年 3 月 立教大学文学部日本文学科卒業
- 1974年 4 月 立教大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程入学
- 1977年 3 月 立教大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程修了(文学修士の学位授与)
- 1977年 4 月 立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期入学
- 1983年 3 月 立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

職歴

- 1976年 4 月 桐蔭学園中等高等学校国語科非常勤講師 (1979年 3 月まで)
- 1979年 4 月 城北学園中等高等学校国語科教諭 (1989年 3 月まで)
- 1987年 4 月 立教女学院短期大学兼任講師 (日本近代文学・国語表現法) (1993年 3 月まで)
- 1989年 4 月 日本映画学校非常勤講師 (文学) (1993年 3 月まで)
- 1991年 4 月 立教大学一般教育部兼任講師 (文学) (1993年 3 月まで)
- 1992年 4 月 作新学院女子短期大学文科国文専攻助教授 (日本文学演習・日本文学史 (近現代) 等) (2001年 3 月まで)
- 1995年 4 月 作新学院大学経営学部兼任講師 (文学) (2001年 3 月まで)
- 2000年 4 月 立教大学文学部兼任講師 (日本文学基礎演習・比較論講義・文学と歴史) (2005年 3 月まで)
- 2001年 4 月 作新学院大学女子短期大学部文科国文専攻教授 (日本文学演習・日本文学史 (近現代) 等) (2002年 3 月まで)
- 2002年 4 月 作新学院大学人間文化学部教授 (現在に至る)
- 2003年 4 月 十文字学園女子短期大学非常勤講師 (2008年 3 月まで)

学会及び社会における活動

- 1970年 4 月 立教大学日本文学会会員 (現在に至る)
- 1974年 5 月 日本近代文学会会員 (現在に至る)
- 1974年 7 月 日本文学協会会員 (現在に至る)
- 1988年 5 月 日本近代文学会運営委員 (1990年 5 月まで)

- 1992年4月 作新学院女子短期大学国文学会会員（改組に伴い2004年3月廃会）
1993年7月 立教大学日本文学会運営委員（2005年3月まで）
1994年6月 昭和文学会会務委員（1997年6月まで）
1995年5月 日本近代文学会運営委員（1997年5月まで）

Ⅱ. 主要業績

著書

1. 石原千秋編『日本文学研究資料叢書Ⅲ 夏目漱石』（共著）1985年7月 有精堂
2. 小田切進編『昭和文学論考—マチとムラ』（共著）1990年4月 八木書店
3. 片岡豊編『漱石作品論集成第2巻 坊っちゃん・草枕』（共編）1990年12月 桜楓社
4. 藤井淑禎編『日本文学研究論文集成26 夏目漱石1』（共著）1998年4月 若草書房
5. 片岡豊編『日本文学研究論文集成27 夏目漱石2』（単編）1998年9月 若草書房
6. 田村充正他編『川端文学の世界3 その深化』（共著）1999年4月 勉誠出版
7. 黒古一夫編『『遠雷』四部作 資料編』（共著）2000年12月 河出書房新社
8. 原善編『現代女性作家読本① 川上弘美』（共著）2005年11月 鼎書房
9. 川村湊編『現代女性作家読本⑧ 柳美里』（共著）2007年2月 鼎書房
10. 現代女性作家読本研究会編『現代女性作家読本⑬ 恩田陸』（共著）2012年6月 鼎書房

学術論文

1. 「『吾輩は猫である』試論—苦沙彌と寒月を中心に」（単著）1974年6月 『立教大学日本文学』第32号
2. 「〈没主体〉の悲劇—「坊っちゃん」論」（単著）1977年12月 『立教大学日本文学』第39号（1990年12月桜楓社刊『漱石作品論集成第2巻』に再録）
3. 「〈見るもの〉と〈見られるもの〉と—「草枕」論その1」（単著）1978年3月 『研究評論濫辞』1号（1985年7月有精堂刊『日本文学研究資料叢書 夏目漱石Ⅲ』に再録）
4. 「〈再生〉の主題—「草枕」論その2」（単著）1978年11月 『研究評論濫辞』2号（1985年7月有精堂刊『日本文学研究資料叢書 夏目漱石Ⅲ』に再録）
5. 「〈意志〉の再生—「二百十日」論」（単著）1979年7月 『研究評論濫辞』3号
6. 「〈憐れ〉の行方—「野分」論」（単著）1980年6月 『研究評論濫辞』4号
7. 「〈挑発〉としての方法—大江健三郎「小説の方法」の評価をめぐる」（単著）1987年2月 『昭和文学研究』第14集（昭和文学会）
8. 「〈関係不在〉の様相—「こゝろ」論」（単著）1988年2月 『立教女学院短期大学紀要』

第19号

9. 「夢の中の〈隠れん坊〉—伊藤整「街と村」論への一視角」(単著) 1990年4月 『昭和文学論考—マチとムラ』(八木書店刊 小田切進編)
10. 「甲野の〈ドラマ〉・藤尾の〈死〉—「虞美人草」論」(単著) 1990年7月 『立教大学日本文学』第64号
11. 「「こゝろ」の〈家〉」(単著) 1991年2月 『立教女学院短期大学紀要』第22号
12. 「〈帰郷〉と〈棄郷〉との間—伊藤整「街と村」再説」(単著) 1991年3月 『立教大学日本文学』第65号
13. 「架空対談「人間失格」の〈私〉に聞く」(単著) 1991年6月 『太宰治』第7号(洋々社発行)
14. 「さまよえる〈家族〉—立松和平「遠雷」「春雷」覚え書」(単著) 1992年7月 『作新国文』第4号
15. 「「三四郎」論序説—美禰子の〈愛〉・広田の〈夢〉」(単著) 1992年7月 『作新学院女子短期大学紀要』第16号
16. 「杏子の至福・杏子の断念—古井由吉「杏子」論」(単著) 1993年10月 『作新国文』第5号
17. 「「こゝろ」を読むということ—秦恒平の「こゝろ」理解への疑問」(単著) 1993年10月 『文芸空間(特集=秦恒平の文学世界)』第9号(1998年4月、若草書房刊『日本文学研究論文集成26 夏目漱石1』に再録)
18. 「代助の〈変貌〉—「それから」一面」(単著) 1993年11月 『作新学院女子短期大学紀要』第17号
19. 「演劇的空間としての「明暗」—夏目漱石「明暗」論のために」(単著) 1994年11月 『作新学院女子短期大学紀要』第18号
20. 「孤立する子供たち—「泥の河」から「天窓のあるガレージ」へ」(単著) 1995年1月 『作新国文』第6号
21. 「湘南の太宰治—太宰治と高橋和巳」(単著) 1995年4月 『湘南文学(特集湘南の太宰治)』第10号
22. 「「門」論の前提あるいは〈跳躍〉する御米—夏目漱石「門」論その1」(単著) 1995年11月 『作新学院女子短期大学紀要』第19号
23. 「反転する〈都市〉—日野啓三「夢の島」論」(単著) 1995年12月 『作新国文』第7号
24. 「〈闘争〉する御米—夏目漱石「門」論その2」(単著) 1996年1月 『立教大学日本文学』第75号
25. 「福永武彦の漱石論」(単著) 1996年8月 『文芸空間(総特集=福永武彦の「中期」)』

第10号

26. 「90年代の〈漱石〉研究」(単著) 1998年9月 若草書房刊『日本文学研究論文集成 27 夏目漱石2』
27. 「『東京の人』の先見性—戦後家族史のなかで」(単著) 1999年3月 勉誠出版刊『川端文学の世界3 その深化』
28. 「漱石の〈顔〉—「漱石研究」あるいは小森陽一・石原千秋の漱石論」(単著) 1999年5月 『日本近代文学』第60集
29. 「『和合同棲』のための男の条件—夏目漱石「門」の宗助」(単著) 2000年1月 『作新国文』第11号
30. 「ゲイ—辻仁成「ワイルドフラワー」」(単著) 2001年1月 学燈社『国文学別冊 恋愛のキーワード』
31. 「娘—小津安二郎「晩春」」(単著) 2001年1月 学燈社『国文学別冊 恋愛のキーワード』
32. 「〈まっとうな力を持つ物語〉への里程標—ノンフィクション」(単著) 2001年12月 朝日新聞社刊『アエラムック 村上春樹がわかる』
33. 「有吉佐和子「恍惚の人」の男／女—残影としてのイエ・イデオロギー」(単著) 2002年3月 『作新国文』第13号
34. 「走る女たち—干刈あがた「ゆっくり東京女子マラソン」論序説」(単著) 2003年11月 『作新国文』第14号
35. 「現代の〈危機〉と夏目漱石—平和の文化学(1)」(単著) 2005年3月 『作新学院大学人間文化学部紀要』第3号
36. 「『いとしい』—男と女の不定形のたわむれ」(単著) 2005年11月 鼎書房刊『現代女性作家読本① 川上弘美』
37. 「『魚が見た夢』—小説家としての生真面目さ」(単著) 2007年2月 鼎書房刊『現代女性作家読本⑧ 柳美里』
38. 「『中庭の出来事』—不可知の連環」(単著) 2012年6月 鼎書房刊『現代女性作家読本⑬ 恩田陸』

学会発表

1. 「〈演劇空間〉としての「明暗」」(単独) 1991年5月 日本近代文学会春季大会
2. 「大江賢次論—昭和知識人論への一視角」(単独) 1995年12月 昭和文学会研究集会
3. 「〈和合同棲〉のための男の条件—漱石「門」について」(単独) 1997年10月 日本近代文学会秋季大会

国語教育関係論文

1. 「挑発としての青年論―日高六郎「青年について」の教材化」(単著) 1983年11月
東京法令出版『月刊国語教育』

書評

1. 「小田切進「日本近代文学の展開―近代から現代へ」」(単著) 1975年7月 『立教大学日本文学』第34号
2. 「榎本正樹「大江健三郎―80年代のテーマとモチーフ」」(単著) 1990年2月 『昭和文学研究』第20集
3. 「山本勝正「夏目漱石文芸の研究」」(単著) 1990年5月 『日本近代文学』第42集
4. 「藤井淑禎「不如帰の時代」」(単著) 1990年7月 『立教大学日本文学』第64号
5. 「石井和夫「漱石と次代の青年―芥川龍之介の型の問題」」(単著) 1994年7月 『立教大学日本文学』第72号
6. 「大竹雅則「漱石 初期作品論の展開」」(単著) 1995年10月 『日本近代文学』第53集

辞典等項目執筆

1. 『日本近代文学大事典』 1977年11月 講談社
2. 『コンサイス学習人名辞典』 1978年11月 三省堂
3. 『別冊太陽32 夏目漱石』 1980年9月 平凡社
4. 『ポケット日本名作事典』 1981年9月 平凡社
5. 『日本人の自伝300選』 1982年9月 平凡社
6. 『日本文学事典』 1982年9月 平凡社
7. 『群像』所収「戦後文学論争史事典」 1986年9月 講談社
8. 『新版ポケット日本名作事典』 2000年3月 平凡社
9. 『夏目漱石事典』 2000年7月 勉誠出版
10. 『村上春樹作品研究辞典』 2001年6月 鼎書房

その他の論文等

1. 「池袋の詩①～⑥」(単著) 1991年5月～1992年3月 財団法人豊島コミュニティ振興公社『コミュニティとしま』26～31
2. 「豊島の作家たち―近代から現代へ①～⑥」(単著) 1992年5月～1993年3月『コミュニティとしま』32～38
3. 「小説に描かれた豊島①～⑧」(単著) 1993年5月～1994年3月 『コミュニティとし

ま』 39～46

4. 「戦後家族と憲法—憲法の“今”を考える」(単著) 2000年11月 日本国憲法をくらしに生かす会会報『憲法とくらしと』 7号
5. 「「単純化された声」にどう対抗するか?」(単著) 2002年2月 『憲法とくらしと』 22号
6. 「大学はどのような? 大学版「構造改革」の行方(1)」(単著) 2004年9月 『憲法とくらしと』 50号
7. 「大学はどのような? 大学版「構造改革」の行方(2)」(単著) 2004年10月 『憲法とくらしと』 51号
8. 「反改憲・反教育基本法改悪 わたしたちの今」(単著) 2005年7月 『憲法とくらしと』 58号
9. 「「象徴天皇制」と「この国のかたち」」(単著) 2005年9月 『憲法とくらしと』 60号
10. 「脅かされる「平和主義」」(単著) 2006年8月 『憲法とくらしと』 68号
11. 「脅かされる「平和主義」Ⅱ 教育基本法の苦難の歴史」(単著) 2006年12月 『憲法とくらしと』 69号
12. 「1980年代 中曽根政権は日本に何をもたらしたのか?」(単著) 2007年5月 『憲法とくらしと』 71号
13. 「子どもたちの心と人格が奪われる 「とちぎ教育振興ヴィジョン」〈心の教育〉批判」(単著) 2008年9月 随想社刊『ずいそう社ブックレット15 県政への提言 第2次県政白書 分権・自治・協働の社会へ』

公開講座・講演等

1. 豊島区民教室講師 1990年10月～11月
2. 作新学院女子短期大学日本文学公開講座講師 1992年10月
3. 作新学院女子短期大学日本文学公開講座講師 1993年10月
4. 作新学院女子短期大学総合公開講座講師 1994年11月
5. 作新学院女子短期大学日本文学公開講座講師 1995年8月～9月
6. 作新学院女子短期大学総合公開講座講師 1996年11月
7. 横須賀市民大学講座講師 1997年7月～1998年1月
8. 作新学院女子短期大学総合公開講座講師 1997年10月
9. 横須賀市民大学講座講師 1998年7月～12月
10. くろいそマナビスト・カレッジ講師 1998年7月
11. 作新学院女子短期大学総合公開講座講師 1998年10月
12. 石橋図書館10周年記念文芸講演会講師 1998年11月

13. 横須賀市民大学講座講師 1999年7月～12月
14. 作新学院大学女子短期大学部日本文学公開講座講師 1999年9月
15. くろいそマナビスト・カレッジ講師 2000年6月
16. 横須賀市民大学講座講師 2000年7月～12月
17. 作新学院大学女子短期大学部総合公開講座講師 2000年11月
18. 作新学院大学女子短期大学部日本文学公開講座講師 2001年9月
19. 栃木県立図書館「読書グループ大会」講演 2002年10月
20. 作新学院大学人間文化学部公開講座 2003年10月
21. 作新学院大学人間文化学部公開講座 2004年9月
22. 栃木県立図書館「読書グループ大会」講演 2004年11月
23. 作新学院大学人間文化学部公開講座 2005年9月
24. 宇都宮市民大学講座講師 2006年6月～7月
25. 作新学院大学人間文化学部公開講座 2006年9月
26. 宇都宮市立図書館読書推進講座講師 2007年1月
27. 作新学院大学人間文化学部公開講座 2007年9月～10月
28. 男女共同参画社会の実現をめざすうつのみや市民会議 教育メディア専門部会講演
2008年3月4日
29. 9条の会栃木憲法施行61周年記念集会講演 2008年5月3日
30. 反改憲の集い講演 2008年5月24日
31. 2008年度作新学院大学公開講座第6回 2008年6月21日
32. 男女共同参画社会の実現をめざすうつのみや市民会議 教育メディア専門部会講演
2008年7月5日
33. 9条フェスタ2008 改憲・格差フリーディスカッション講演 2008年10月18日
34. 全教栃木教育研究集会講演 2009年2月7日
35. 2009年度作新学院大学公開講座第2回 2009年5月30日
36. 2009年度宇都宮市雀宮地区市民センター「さわやかライフセミナー公開講座」 2009
年7月8日
37. 宇都宮市民大学講座講師 2009年11月～12月
38. 2009年度作新学院大学公開講座シンポジウム 2009年11月
39. 9条フェスタ2009 改憲問題フリーディスカッション講演 2009年11月
40. 男女共同参画社会の実現をめざすうつのみや市民会議 教育メディア専門部会講演
2010年2月16日
41. 那須野が原9条の会講演 2010年6月27日
42. 東京高等教育研究所公開シンポジウム 2010年7月17日

- 43. 2010年度作新学院大学公開講座講師 2010年11月～12月
- 44. 9条フェスタ2010 改憲問題フリーディスカッション講演 2010年11月20日
- 45. 男女共同参画社会の実現をめざすうつのみや市民会議 教育メディア専門部会講演
2011年3月1日
- 46. 東京高等教育研究所公開シンポジウム 2011年7月16日
- 47. 上三川公民館文学講座講師 2011年9月6日～9月22日
- 48. 2011年度作新学院大学公開講座講師 2011年10月～11月
- 49. 国分寺公民館公開講座講師 2012年6月～9月
- 50. 東京高等教育研究所公開シンポジウム 2012年7月14日
- 51. 上三川公民館文学講座講師 2012年9月12日～26日
- 52. 2012年度作新学院大学公開講座講師 2012年10月～11月
- 53. 2012年度「反原発 東電抗議のつどい」講演 2012年12月8日